

復員廳第二復員局公報

第九二號

昭和二十二年三月六日(木)
第二復員局文書課

○令 達

復二第一五三號

復員廳地方復員局定員表中次ノヨウニ改正スル。

昭和二十二年二月二十八日

復員廳 總裁

吳地方復員局ノ部中大竹掃海部ノ項「二三」ヲ「一九」ニ、「六七」ヲ「八一」ニ、「一八四」ヲ「二〇八」ニ、下關掃海部ノ項「二五」ヲ「二七」ニ、「七八」ヲ「九〇」ニ、「二三七」ヲ「二三一」ニ改メル。
大阪地方復員局ノ部中阪神掃海部ノ項「四二」ヲ「二三」ニ、「二〇〇」ヲ「七七」ニ、「二二〇」ヲ「二一八」ニ改メル。
合計ノ項中「七四三」ヲ「七二二」ニ、「一六四六」ヲ「一六四九」ニ、「五〇七九」ヲ「四九九五」ニ改メル。

(参照 二月八日第二復員局公報)

復二第一五四號

昭和二十一年復二第一一號掃海基地設置ニ關スル件及ビ同年復二第二五八號徳山掃海基地ニ配スル人員ニ關スル件ハコレヲ廢止スル。

昭和二十二年二月二十八日

復員廳 總裁

復二第一五五號

復員廳分課規程中次ノヨウニ改正スル。

昭和二十二年二月二十八日

復員廳 總裁

別表第二ノ第二十八條表中横須賀地方復員局ノ項上陸地連絡所ノ欄「浦賀」ヲ削ル。

(参照 昭和二十一年六月二十日第二復員局公報)

復二第一五六號

復員廳地方復員局定員表中次ノヨウニ改正スル。

昭和二十二年二月二十八日

復員廳 總裁

横須賀地方復員局ノ部中浦賀上陸地連絡所ノ項ヲ削リ合計ノ項中「七二二」ヲ「七〇七」ニ、「一六四九」ヲ「一五九九」ニ、「四九九五」ヲ「四九四五」ニ改メル。

(参照 二月八日第二復員局公報)

復員廳第二復員局公報 第九二號 昭和二十二年三月六日

五三

0876

復二第一五七號
當分ノ間掃海艦船ノ定員ハ別表ニヨリコレヲ試行スル。
昭和二十一年達第一五號掃海艦船等ノ定員試行ノ件ハコレヲ廢止スル。

昭和二十二年三月五日

復員廳總裁

(別表添)

(參照) 昭和二十一年五月二十三日第二復員局公報)

復二第一五八號

昭和二十一年復二第七九號掃海艦竹生等ヲ掃海母艦ト呼稱等ノ件
中次ノヨウニ改正スル。

昭和二十二年三月五日

復員廳總裁

第一項中「定員」ノ下ニ「(艦長ヲ除ク)」ヲ加エ第二項ノ次ノヨウニ改メ別表ヲ削ル。

前項ノ場合ニハ掃海母艦定員中乗組ノ人員ヲ所屬ノ掃海部又ハ掃海監部ニ臨時増置シ當該部長方乘艦ヲ命ズルモノトスル。

(參照) 昭和二十一年七月十五日第二復員局公報)

○雜款

○郵便物發送先

特別保管艦 海第五五號 佐世保市福石町
同 海第一九八號 同 佐世保保管艦部氣付
同 海第二一五號 同

○事務所

二月十日移轉 鳥取地方世話部第二復員課
鳥取市東町鳥取地方世話部内
二月十五日同 舞鶴地方復員局舞鶴上陸地連絡所
舞鶴市大字中田字平(舊平海兵團内)

○殘務整理

二月二日開始 吳管船部大竹支部殘務整理班
吳在泊特別保管艦宵月内

○轉官

昭和二十二年三月二十二日 地下資源調査所技手ニ 海軍技手 加々美時寬
臺灣總督府地方技師 海軍司政官 衣笠 勝
同 臺灣總督府地方技師 同 柏場善久男
四月十五日 商工事務官ニ轉官 同 林 善三郎
同 臺中州屬ニ轉官 海軍教員 櫻井芳次郎
同 臺灣總督府技師ニ轉官 海軍技師 渡邊 裕
同 臺灣總督府地方技師ニ轉官 同
臺灣公立中等學校教諭ニ轉官 海軍司政官 小林 喜一

0877

(復二第一五七號別表)

(昭和二十二年三月六日復員總務第二復員局公報)

掃海艦船定員表

官職名	二級事務官					三級事務官				雇員備人				計	備考	
	艦船長	元兵科	元機關科	元醫務科	元主計科	元兵科	元機關科	元看護科	元主計科	元兵科	元機關科	元看護科	元主計科			
掃海母艦	1	3	1			6	4	1	2	7	6	1	2	34	一 本表ノ外各艦船(掃海母艦及ビ試航艦ヲ除ク)ニハ二級事務官定員ノ各々百分ノ二十、三級事務官及ビ雇員備員ノ各々百分ノ十ノ人員ヲ置クコトガデキル。 二 本表ノ外大發及ビ雜船ニハ二隻毎ニ指揮官ニ充テルクメ三級事務官(元准士官)一人ヲ置クコトガデキル。 三 雜船ノ定員ニハ嘱托者ヲコレニ充テルコトガデキル。	
元驅潜特務艇	1	1				5	5			10	5		2	29		
元哨戒特務艇	1	1	1			8	3			10	4		2	30		
大發						1				3	2			6		
曳船		1				4	5			5	4			19		
雜船						2	1			5	2			10		
元特設掃海艇	1	2	1			15	6			15	6	1	2	49		
試航艦	東亞丸	1	6	4	1	1	13	11	1	3	15	13	1	3		73
	桑丸	1	5	4	1	1	11	8	1	2	12	12		3		61

0880

復員廳第二復員局公報

第九三號

昭和二十二年三月十日(月)

第二復員局文書課

○令 察

復二第一四四號

第二復員部内暫定加給支給規則ヲ次ノヤウニ制定スル。

昭和二十二年二月二十八日

復員廳 總裁

第二復員部内暫定加給支給規則

第一條 官吏、同待遇者、囑託者、雇員及ビ傭人ニハ本則ニヨリ暫定加給ヲ支給スル但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハコノ限リデナイ。

一 俸給(報酬ヲ含ム以下之ニ同ジ)又ハ給料ノ支給ヲ受ケナイ者。

二 第二復員部内ノ勤務ヲ木務トシナイ者。

三 休職中ノ者。

四 外地又ハ外國ニアル者デ内地ニ扶養家族ヲ殘置シナイ者(特別輸送艦乗員トシテ派遣サレタ者ヲ除ク)。

第二條 暫定加給ノ月額ハ俸給給料加給額、臨時勤務地手當加給額(外地又ハ外國ニアル者ヲ除ク)及ビ臨時家族手當加給額(兵ヲ除ク)ノ合計額トスル。

第三條 俸給給料加給額ハ別表第一乃至第四ニヨル。

第四條 臨時勤務地手當加給額ハ左ノ各號ニヨル。

一 第二復員部内臨時家族手當支給規則別表ノ甲地域ヲ勤務地トスル者ニアツテハ俸給又ハ給料ト俸給給料加給額トノ合計額ノ二割ニ相當スル金額カラ臨時勤務地手當ノ額ヲ控除シタ額。

二 第二復員部内臨時家族手當支給規則別表ノ乙地域ヲ勤務地トスル者ニアツテハ俸給又ハ給料ト俸給給料加給額トノ合計額ノ一割ニ相當スル額。

第五條 臨時家族手當加給額ハ月額二十圓ニ第二復員部内臨時家族手當支給規則第三條及ビ第三條ノ二ノ規定ニ該當スル扶養家族ノ員數ヲ乘ジテ得タ金額トスル。

第六條 暫定加給ハ俸給又ハ給料ノ支給定日ニコレヲ支給スル但シ轉勤、轉雇、轉備、退職、死亡等ノ場合ハ其ノ月分ノ全額ヲ支給スル。

第七條 暫定加給ノ支給ヲ受ケル者ガ轉勤、轉雇又ハ轉備シタトキハ新所屬廳ニ於テハソノ翌月分カラコレヲ支給スル。

第八條 暫定加給ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハソノ間コレヲ支給シナイ。

一 俸給又ハ給料ノ支給シナイ月。

二 休職ノトキハソノ翌月カラ復職ノ前月迄。

復員廳第二復員局公報 第九三號 昭和二十二年三月十日

五七

0881

三 留置、勾留、處刑又ハ被害事件ノ爲護送ノトキハソノ月カラ取消又ハ釋放ノ前日ノ屬スル月迄。
第九條 本則ニ定メルモノヲ除クノ外暫定加給ノ支給ニツイテハ俸給又ハ給料支給ノ例ニヨル。

附則

本則ハ昭和二十二年一月一日以後ノ給與ニツキコレヲ適用スル。
昭和二十二年二月十日第五番電（二月十九日公報參照）ニヨリ同年一月分及ビ二月分ノ暫定加給ヲ既ニ支給済ノ者ニツイテハ本則ニヨリ計算シタ額カラ既ニ支給シタ額ヲ差引イテ支給スル。
昭和二十二年一月一日現在在職中ノ者ニツイテハ本規則ニモトズク暫定加給金トシテ一月分ノ一時金ノ外ニ本年二月十日第五番電第一號（イ）ニ該當スル者ニハ一率ニ百圓、同號（ロ）ニ該當スル者ニハ一率ニ五十圓ヲ支給スル。
昭和二十二年二月十日第五番電ハコレヲ廢止スル。
（別表添）

○ 雜 款

○ 轉官
昭和二十二年 南洋廳技師ニ轉官 海軍技師 後藤 達夫
四月十五日 同 運輸技官ニ轉官 同 星野 常雄
三月十五日

同 三月二十六日 地方事務官ニ轉官 復員事務官 池田 黎一

0882

(復二第一四四號別表第一)

(昭和二十二年三月十日復員廳第二復員局公報)

俸給報酬加給額 (官吏及七部内限官吏待遇囑託者)

俸給、報酬	俸給報酬加給額	俸給、報酬	俸給報酬加給額	俸給、報酬	俸給報酬加給額
三〇〇 ^円	二九〇 ^円	六六〇 ^円	五八〇 ^円	一一二五〇 ^円	七九〇 ^円
三三〇	三二〇	七〇〇	六一〇	一二三〇〇	八一〇
三六〇	三五〇	七五〇	六三〇	一、三〇〇	八〇〇
三九〇	三八〇	八〇〇	六五〇	一、四〇〇	八〇〇
四二〇	四一〇	八五〇	六七〇	一、五〇〇	八〇〇
四六〇	四四〇	九〇〇	六九〇	一、六〇〇	八〇〇
五〇〇	四七〇	九五〇	七一〇	一、七〇〇	八〇〇
五四〇	四九〇	一、〇〇〇	七三〇	一、八〇〇	八〇〇
五八〇	五二〇	一、〇五〇	七五〇	一、九〇〇	八〇〇
六二〇	五五〇	一、一〇〇	七七〇	二、〇〇〇	八〇〇

備考

囑託者ニツイテ本表報酬ニ相當スル報酬方ナイトキノ加給額ハ現ニ受ケル報酬ノ直近上位ノ報酬ノ加給額ニ依ル。

0883

(復二第一四四號別表第二)

給料加給額(原員及七傭人長)

(昭和二十二年三月十日復自廳第二復員局公報)

給料	加給額料	給料	加給額料	給料	加給額料	給料	加給額料
一一〇〇	一一三〇	二二〇	二五〇	四四〇	四三〇	八一〇	六五〇
一一三〇	一一三〇	二四〇	二六〇	四七〇	四五〇	八五〇	六七〇
一四〇	一一三〇	二六〇	二七〇	五〇〇	四七〇	九〇〇	六九〇
一五〇	一一三〇	二八〇	二八〇	五三〇	四九〇	九五〇	七一〇
一六〇	一一三〇	三〇〇	二九〇	五六〇	五一〇	一〇〇〇	七三〇
一七〇	一一三〇	三二〇	三一〇	五九〇	五三〇	一〇五〇	七五〇
一八〇	一一三〇	三四〇	三三〇	六二〇	五五〇	一一〇〇	七七〇
一九〇	一一三〇	三六〇	三五〇	六五〇	五七〇	一一五〇	七九〇
二〇〇	一一三〇	三八〇	三七〇	六九〇	五九〇	一二〇〇	八一〇
二二〇	一一三〇	四〇〇	三九〇	七三〇	六一〇		
二三〇	二四〇	四二〇	四一〇	七七〇	六三〇		

0884

(復二第一四四號別表第三)

給料加給額(傭人(傭人長ヲ除ク))

(昭和二十五年三月十日復員廳第二復員局公報)

九 五〇	九 〇〇	八 五〇	八 〇〇	七 五〇	七 〇〇	六 五〇	六 〇〇	五 五〇	五 〇〇	四 五〇	四 〇〇	給 料
九 四〇	九 一〇	八 九〇	八 七〇	八 二〇	七 七〇	七 七〇	七 七〇	七 七〇	七 七〇	七 七〇	七 七〇	加 給 額 料
一 九〇〇	一 八〇〇	一 七二〇	一 六四〇	一 五六〇	一 四八〇	一 四〇〇	一 三二〇	一 二四〇	一 一六〇	一 〇八〇	一 〇〇〇	給 料
一 七一〇	一 六三〇	一 五七〇	一 五二〇	一 四七〇	一 四二〇	一 三七〇	一 二九〇	一 二一〇	一 一三〇	一 〇五〇	九 七〇	加 給 額 料
三 一〇〇	三 〇〇〇	二 九〇〇	二 八〇〇	二 七〇〇	二 六〇〇	二 五〇〇	二 四〇〇	二 三〇〇	二 二〇〇	二 一〇〇	二 〇〇〇	給 料
二 三四〇	二 三三〇	二 三五〇	二 三二〇	二 二七〇	二 二三〇	二 二〇〇	二 〇四〇	一 九七〇	一 九三〇	一 八七〇	一 七九〇	加 給 額 料
			四 〇〇〇	三 九〇〇	三 八〇〇	三 七〇〇	三 六〇〇	三 五〇〇	三 四〇〇	三 三〇〇	三 二〇〇	給 料
												加 給 額 料
			二 七〇〇	二 六六〇	二 六二〇	二 五八〇	二 五四〇	二 五〇〇	二 四六〇	二 四二〇	二 三八〇	加 給 額 料

0885

(復二第一四四號別表第四)

俸給・給料加給額 (内地又ハ外國ニアル軍人軍屬デ)

(昭和二十二年三月十日復員廳第二復員局公報)

俸給給料	加俸給額料	俸給給料	加俸給額料	俸給給料	加俸給額料	俸給給料	加俸給額料
二〇〇〇	七三〇	七五〇	六三〇	五〇〇	四七〇	二五〇	二七〇
九九〇	七三〇	七四〇	六二〇	四九〇	四七〇	二四〇	二六〇
九八〇	七二〇	七三〇	六一〇	四八〇	四六〇	二三〇	二五〇
九七〇	七二〇	七二〇	六一〇	四七〇	四五〇	二三〇	二四〇
九六〇	七一〇	七二〇	六一〇	四六〇	四四〇	二二〇	二四〇
九五〇	七一〇	七一〇	六一〇	四五〇	四四〇	二一〇	二三〇
九四〇	七一〇	七〇〇	六一〇	四五〇	四三〇	二〇〇	二三〇
九三〇	七〇〇	六九〇	六一〇	四四〇	四二〇	一九〇	二三〇
九二〇	七〇〇	六八〇	六一〇	四三〇	四一〇	一八〇	二三〇
九一〇	六九〇	六七〇	六一〇	四二〇	四〇〇	一七〇	二三〇
九〇〇	六九〇	六六〇	六一〇	四一〇	三九〇	一六〇	二三〇
八九〇	六八〇	六五〇	六一〇	四〇〇	三八〇	一五〇	二三〇
八八〇	六八〇	六四〇	六一〇	三九〇	三七〇	一四〇	二三〇
八七〇	六七〇	六三〇	六一〇	三八〇	三六〇	一三〇	二三〇
八六〇	六七〇	六二〇	六一〇	三七〇	三五〇	一二〇	二三〇
八五〇	六六〇	六一〇	六一〇	三六〇	三四〇	一一〇	二三〇
八四〇	六六〇	六〇〇	六一〇	三五〇	三三〇	一〇〇	二三〇
八三〇	六五〇	五九〇	六一〇	三四〇	三二〇	九〇	二三〇
八二〇	六五〇	五八〇	六一〇	三三〇	三一〇	八〇	二三〇
八一〇	六四〇	五七〇	六一〇	三二〇	三〇〇	七〇	二三〇
八〇〇	六四〇	五六〇	六一〇	三一〇	二九〇	六〇	二三〇
七九〇	六三〇	五五〇	六一〇	三〇〇	二八〇		二三〇
七八〇	六三〇	五四〇	六一〇	二九〇	二七〇		二三〇
七七〇	六三〇	五三〇	六一〇	二八〇	二六〇		二三〇
七六〇	六三〇	五二〇	六一〇	二七〇	二五〇		二三〇

備考
本表俸給給料ニ相當スル俸給給料ガナイトキノ加給額ハ現ニ受ケル俸給給料ノ直近上位ノ俸給給料ノ加給額ニヨル。

0886

復員廳第二復員局公報

第九四號

昭和二十二年三月十一日(火)
第二復員局文書課

○通牒

二復人扶第一五號ノ八一
昭和二十二年二月十日

復員廳第二復員局人事部長
復員廳第二復員局經理部長

各地方復員局人事部長
各地方復員局經理部長
各地方世話部第二復員課長

引取人ノナイ遺骨(英靈)等ノ整理ニ關スル
件照會

着題ノ件、左記ニヨリ處理サレタイ。

一 處理方針

(イ) 傳達不能ノ遺骨(遺髮、爪、形見等、遺骨ニ代エ得ルモノヲ含ム、以下同)ハ、左ノ區分ニヨリ、舊海軍墓地ニ合祀スル。

種別	合祀場所
遺族住所不明ノモノ	所屬(ニ復在籍者)ノ分ハ、ソノ本籍地所管) 地方復員局
引取人ノナイ單身者	舊海軍墓地

本人氏名不明ノモノ
分骨シタモノノ殘骨

現在安置中又ハ最寄りノ地方復員局舊海軍墓地

(ロ)

遺骨傳達式ニ際シ、遺族ニ支給スベキ所定ノ給與金未支出ノ分ハ遺族判明ノ際直ニ支給ヲ爲シ得ルヨウニ夫々所屬復員局經理部ニ於テ書類ヲ整備シ置クコト。既ニ支出濟ノ給與金デ遺骨引取人ノ究明實施後尙遺族ノ所在不明デゾノ交付ノデキナイモノハコレヲ戻入(年度經過後ハ戻入)トシテ處理スル。

(ハ)

遺留品及ビ遺留金ハ左ノ區分ニヨリ保管スル。

種別	遺留品及ビ現金	郵便貯金
遺族住所不明ノモノ	所屬(ニ復在籍者)ノ分ハ、ソノ本籍地所管) 地方復員局人事	日録書(通帳記號、番號、預ケ人氏名)ヲ記載スル)ヲ添シ(原簿所管)ニ移管スル
引取人ノナイ單身者	部ニ保管スル	金(支局)ニ移管スル
氏名不明ノモノ	現在保管又ハ最寄りノ地方復員局人事	部ニ保管スル

將來引取人ガ明ラカニナツタ場合ノ傳達、又ハ復員廳方

復員廳第二復員局公報 第九四號 昭和二十二年三月十一日

五九

0887

廢止サレル場合ノ移管等ヲ回滑ニスルタメ、必要ナ書類ヲ整備シテオク。

二 處理要領

(イ) 遺骨引取人ノ究明

期 日	二 月			三 月		
	上	中	下	上	中	下
二復 人事部	<p>下記名簿ニツキ、 現住所變更ノ有無 ヲ調査スル。</p>					
地方世話部第二復員課 又ハ地復人事部	<p>二月一日現在引取人不明 ノタメ未傳達ノ遺骨(英 靈)名簿(イロハ順)ヲ 作成、二復人・地復人及 ビ各地方世話部ニ通報ス ル。</p> <p>各部ハ右名簿ニツキ、自 己縣内ニツイテツノ引取 人ノ在否ヲ調査シ、若シ 在住者ガアレバ、コレヲ 關係各部ニ連絡スル。</p>					

(ロ) 遺骨ノ移管

(註) 今後發表サレルモノデ、引取人ノ判明シナイモノ
ニツイテハ、毎月毎ニ區分シ、右要領ニ準ジ處理
スル。

期 日	二 月	三 月	四 月		
	月	月	上	中	下
二復 人事部 地方世話部第二復員課	(引 取 人 ノ 究 明)				
	<p>(イ) 項ニヨリ判明シナイ遺骨ヲ 夫々地復人事部ニ移管スル</p>				

(註) 今後發表サレルモノデ、引取人ノ判明シナイモノ
ニツイテハ、毎月毎ニ區分シ、右要領ニ準ジ處理
スル。

(ハ) 遺骨ノ合祀

各地方復員局ハ、夫々舊海軍基地ニ、適宜ノ納骨施設ヲ設
ケ、引取人ノナイ遺骨ヲ順次ニ安置スル。
コノ場合遺族名ノ判明シテキルモノハ、個々ニ整理シテオ
キ、要スル場合、直チニ取り出し得ルヨウニスル。(遺骨箱
材料モ成ルベク取りソロエテオクコト)

(ニ) 遺留品及ビ遺留金ノ處理

遺骨ノ處理要領ニ準ジ、併行シテ實施スル。

(ホ) 遺骨ノ移管

遺骨ノ移管

擔當	書類名	調査要領
各地復人事部	合祀記録	合祀ニ至ルマデノ主要ナ経緯、納骨施設建立ノ概要等、将来参考トナル事項ヲ記録スル。
各地世二復 (資料ヲ地復人事部ニ提供)	合祀者名簿	(一) 都道府縣市町村別ニ作製スル。 (二) 所屬、官等級、氏名、入籍番號、本籍、遺族名、戦歿状況等記註ノコト。
二復人事部 (資料ヲ各地復人事部ニ提供)	遺留品名簿	(一) 都道府縣市町村別ニ作製スル。 (二) 所屬、官等級、氏名、入籍番號、本籍、遺族名、遺留品種別、金額等記註ノコト。
二復人事部 (資料ヲ各地復人事部ニ提供)	未交付給與金明細表	(一) 都道府縣市町村別ニ作製スル。 (二) 給與金ノ種別、金額及ビ所屬、官等級、氏名、本籍、受給者名記註等ノコト。
二復人事部 (資料ヲ各地復人事部ニ提供)	遺留品名簿	(一) 都道府縣市町村別ニ作製スル。 (二) 所屬、官等級、氏名、入籍番號、本籍、遺族名、遺留品種別、金額等記註ノコト。

三 經費
 本件處理ニ要スル費用ハ關係各經理部ニ協議ノコト。

四 其ノ他

(イ) 以上ニ關連シ、英靈傳達式終了後歸還シタ遺骨、殉職者遺骨等デ、未ダ遺族ニ傳達シテモナイモノ、及ビ戦災等デ燒失シタ遺骨、遺留品ニツイテハ、關係各部デ、ソノ名簿、

ヲ作製シ、二復各地復及ビ各地世二復ニ配付シテ、事務ノ促進、回滑化ヲハカルコト。
 (ロ) 納骨施設ノ建立ニ際シテハ、内務文部兩次官通牒「公葬等ニツイテ」ノ趣旨ヲ遵守ノコト。

○ 雜 款

復員廳第二復員局公報 第九四號 昭和二十二年三月十一日

六一

0889

○轉官	昭和三十二年六月十五日	地方事務官ニ轉官	海軍書記	松本 孝
同		同	同	木村 賢
同		同	同	岩下 武揚
同		同	同	鷺見 孝義
同		同	同	小林 保一
同		同	同	油上 幸雄
同	昭和三十二年七月十五日	地方事務官ニ轉官	同	田中 賢哉
同		同	同	滝田 賢一
同		同	同	吉山 勝甚
同		同	同	及川 勉
同		同	同	復員事務官
同		同	同	島田 孝朔
○改姓	一月二十二日	復員事務官大井正雄ハ「藤山」ト改姓ノ旨昭和二十一年十一月届出タリ。		

0890

復員廳第二復員局公報

第九五號

昭和二十二年三月十二日(水)

第二復員局文書課

○令 達

復二第一六二號

榮昌丸、榮榮丸、東亞丸、わかくさ丸ノ各上欄ノ職ニアルモノハ特ニ發令セラレルモノノ外別ニ辭令ヲ用ヒナイデ各下欄ノ職ニ補命セラレタモノト心得ヨ。

昭和二十二年三月五日

復員廳總裁

指揮官	船長
航海長	
機雷長	
機關長	乗組
軍醫長	
主計長	

復二第一七〇號
第二復員部内掃海手當支給規則ノ一部ヲ次ノヤウニ改正スル。

復員廳第二復員局公報 第九五號 昭和二十二年三月十二日

昭和二十二年三月十日

復員廳總裁

第二條中「二回」ヲ「三四」ニ改メル。

附則

本令ハ昭和二十二年一月一日以後ノ給與ニツキコレヲ適用スル。

復二第一七一號

昭和二十一年勅令第百十號ニヨツテ臨時軍事費特別會計所屬ノ歳入金、歳出金ヲ一般會計ノ歳入、歳出ニ組入レ整理スルニ當リ次ノヤウニ定メラレタ。

昭和二十二年三月十日

復員廳總裁

一 歳入

科目ハ左記ノ通りトシ既ニ收入済ノモノモコノ科目ニ適合スルヤウ更正ノコト。

記

大藏省主管 歳入臨時部

款	項	目	節
臨時軍事費特別會計整理收入			

六三

0891

		臨時軍事費特別會計整理收入	雑收入					
				辦償及違約金	物品拂下代	支那現地取得物資拂代	軍需品賣拂代	雑收
一	歳出							
(一)	大藏省所管トスルコト。							
(二)	科目							
款	臨時軍事費特別會計整理支出							
項	從來ノ臨時軍事費特別會計ノ科目ヲ其ノ儘繼承スルコト。							
目	ト。							
○ 雜 款								
○ 正誤								
三月十日附復員廳第二復員局公報第九三號令達欄復二第一四四號第二復員部内暫定加給支給規則附則第三項中「暫定加給金トシテ一月分ノ一時金ノ外ニ」ハ「暫定加給ノ外ニ本年一月分ノ一時金トシテ」ノ誤。								

0892

復員廳第二復員局公報

第九六號

第二復員局文書課

昭和二十二年三月十三日(木)

○令 達

復二第一七五號

第二復員省職員共済組合規則施行細則ノ一部ヲ次ノヤウニ改正スル。

昭和二十二年二月十七日

復員廳 總裁

「第二復員省職員共済組合規則施行細則」ヲ「復員廳第二復員局職員共済組合規則施行細則」ニ改メル。

第一條中「第二復員省職員共済組合規則(以下規則ト稱ス)」ヲ

「復員廳第二復員局職員共済組合規則(以下規則ト稱ス)」ニ、

「第二復員省經理局長」ヲ「復員廳第二復員局經理部長」ニ、「第

二復員省」ヲ「復員廳第二復員局」ニ、「第二復員省地方復員局

經理部長」ヲ「復員廳地方復員局經理部長」ニ改メル。

第六條中「第二復員省經理局長」ヲ「復員廳第二復員局經理部

長」ニ改メル。

第二十九條中「第二復員省經理局長」ヲ「復員廳第二復員局經

理部長」ニ改メル。

第二號書式中「第二復員省職員共済組合員證」ヲ「復員廳第二

復員局職員共済組合員證」ニ、「第二復員省職員共済組合」ヲ

「復員廳第二復員局職員共済組合」ニ、「第二復員省經理局内」ヲ

「復員廳第二復員局經理部内」ニ、「第二復員省職員共済組合本

部」ヲ「復員廳第二復員局職員共済組合本部」ニ改メル。

第十一號書式「脱退」ノ項中「兵役」及ビ「徵用解除」ノ欄並

ニ「甲組合員」ノ項中「工員」ノ欄ヲ削リ、同項中「職員」ヲ

「三級官吏待遇嘱託員」ニ、「乙組合員」ノ項中「高等文官同待

遇者」ヲ「二級官吏」ニ、「判任文官同待遇者」ヲ「三級官吏

ニ、「嘱託員」ヲ「二級官吏待遇嘱託員」ニ改メル。

第十二號書式備考第三號括弧中「年俸者ハ其ノ十二分ノ一額」

ヲ削ル。

第十三號書式中「年俸者」ノ項ヲ削ル。

附 則
コノ令達ハ昭和二十一年六月十五日カラ、コレヲ適用スル。

○通 牒

復二第一六九號

昭和二十二年三月十日

復員廳第二復員局長

關係各廳長殿

周波數規正強化ニ關スル件照會

復員廳第二復員局公報 第九六號 昭和二十二年三月十三日

六五

0893

首題ノ件ニツキ別紙昭和二十二年二月二十日附金第八號ニヨリ
逓信省電波局長カラ照會ガヤツクワデ了知サレタイ。

(別紙)

企第八號

昭和二十二年二月二十日

逓信省電波局長

復員廳長官殿

周波數規正強化ニツイテ

電波周波數ノ確度維持ニ關シテハ豫テ充分御配慮ノコトト思料
セラレルガ實際測定ノ結果ハナオ向上ノ餘地ガアル實狀デ、連
合軍最高司令部カラモ、我國無線電信、無線電話ノ管理統制ヲ
一層嚴重ニ實施スルヤウ指令ガ發セラレ之ガ統制ニツイテ周波
數ノ規正強化ヲ勵行シナケレバナナイコトトナツタノデ左記
事項諒知ノ上割當周波數ヲ適確ニ維持スルヨウ特ニ御協力願イ
タイ。命ニヨツテ通達スル。

記

- 一 指定サレタ周波數ノ許容偏差ハ客年四月二十三日附選測第
三六號通牒(電波使用ノ適正化ニ關スル件)ニ拘ラズ振幅變
調ヲ用ヘルモノニ於テ左ノ通りデアアルカラコノ範圍ヲ超エヌ
ヨウ、嚴重ヲ注意ヲ要スル。
- 1 一〇kc乃至五五〇kcノ周波數ヲ使用スルモノノ許容偏差
ハ〇・二%放送局(五五〇kc乃至一五〇〇kcノ周波數ヲ使用

2 スルモノ)ノ周波數許容偏差二〇サイクルデアアルコト。
其他ノ周波數ニツイテハ左表ニヨルコト。

施設ノ種別	許容偏差	
	至三〇MC C乃	三〇MC以 上
固定業務施設	〇・二%	〇・二%
移動業務陸上施設	〇・二%	〇・二%
氣象通信施設	〇・二%	〇・二%
船舶向放送施設	〇・二%	〇・二%
無線標識施設	〇・二%	〇・二%
無線電話放送施設(含中繼)	〇・〇・五%	〇・〇・五%
可搬用施設	〇・二%	〇・三%
移動用施設	〇・二%	〇・三%
出力一W以下ノ可搬用施設	〇・〇・五%	〇・一〇%

- 二 周波數偏差ガ前項ノ許容偏差ノソレゾレ三倍ヲ超エタトキ
ハ、許容偏差以内ヘ回復スル迄ソノ周波數ノ使用ヲ停止サセ
ル。
- 三 周波數偏差ガ前號ニ滿タナイモノデモ許容範圍内ニ收マル
見込ノナイモノハソノ狀態ノ回復スル迄使用ヲ停止サセル。
- 四 前二號ノ停止ハ雷波局長又ハ電波觀測所長カラ直接ソノ無
線施設ニ對シテ指示スルカラ行違イノナイヨウ豫メ關係ノ向
ヘ通達シ置カレタイ。

0894

五 使用停止ヲ命セラレタ周波數ニヨル通信ノ開始ニツイテハ
規正ヲ確認シタ上デ指示スルカラ、コノ間警察官ノ電波觀測所
又ハ電波局ト密接ナ連絡ヲ保ツコトヲ要スル。
六 本通達ニ基イデ發スル指示ニ違背シ重大ナ不都合ヲ生ジタ
トキハ、施設ノ許可又ハ承認ノ取消、若ハ使用ノ停止ヲ命ズ
ル。

復二第一七四號

昭和二十二年三月十一日

復員廳第二復員局支書課長

關係各廳長殿

參議院議員選舉運動ノ張札等ノ取扱ニ關スル
件通牒

首題ノ件別紙ノヤウニ移牒ガアツタカラ了知サレタイ。

(別紙)

内閣内乙第八號

昭和二十二年二月二十七日

内閣官房總務課長

復員廳總裁官房長殿

參議院議員選舉運動ノ張札等ノ取扱ニツイテ

標記ノ件ニ關シ別紙ノトオリ内務次官カラ申越ガアツタカラ命
ニヨリ移牒スル。

昭和二十二年二月二十四日

復員廳第二復員局公報 第九六號

昭和二十二年三月十三日

内閣書記官長殿

内務次官閣

參議院議員選舉運動ノ張札等ノ取扱ニツイテ

本日付内務省令第十一號ヲモツテ、(二月二十四日官報參照)參
議院議員選舉運動取締規則ヲ公布、即日施行ノコトヲ致シタガ、
同規則第五條ニ、何人モ、原則トシテ、國若シクハ地方公共團
體ノ所有又ハ管理スル建物、其ノ他一切ノモノニ、選舉運動ノ
タメノ張札ヲ、掲示スルコトガデキナイ趣旨ノロトヲ規定致シ
タ。

石ハ、官公廳ノ所有或ハ保管スル建物其ノ他一切ノモノガ特定
ノ候補者ノタメニ、便宜供與サレル弊害ヲ防止セントスル趣旨
ニヨリ一般的ニ禁止シヨウトスルモノデアツテ、本條ノ完全
ナ履行ハ特ニ嚴格ニ要請サレルノデ、貴廳及貴廳所管ノ廳ニ對
シ、第五條但書ノ場合ヲ除キ、選舉運動ノタメノ文書圖書ノ掲
示ヲ承諾シ或ハ掲示サセテハナラナイコトヲ周知徹底方御高配
ヲ煩ハシタイ。

二復總第八一號

昭和二十二年二月二十二日

復員廳第二復員局總務部長

關係各廳長殿

雜役船保管實施要領ノ件通牒

首題ノ件別紙ノ通り定メラレタカラ了知サレタイ。

六七

0895

雜役船保管實施要領

- 一 本保管實施要領ヲ雜役船トハ一九四六年七月十二日 O.B. Nav. Jap. Serial 1003 ニヨツテ第二復員局ガ責任ヲモツテ保管スルコトヲ命ゼラレタ艦船中特別輸送艦船、掃海艦船、特別保管艦(特ヲ含ム)行動不能艦艇(特ヲ含ム)ヲ除ク一切ノ舟艇(既ニ内務省ニ移管済ノモノヲ除ク)ヲ總稱シ、ソノ保管ハ管船規程ニヨル外本保管實施要領ニヨツテ行フ。
- 二 各地方復員局長ハ左ノ標準ニヨリ所管雜役船配屬ヲ決定スル。
 - 使用中ノ雜役船……各任務ニヨリ管船部又ハ掃海部或ハ補給部等
 - 保管中ノ雜役船……管船部
 但シ必要ニ應ジテ第二復員局長ハ雜役船所管ノ變更ソノ他ノコトヲ指令スルコトガアル。
- 又雜役船ノ乘員ハ特別ノ理由ノナイ限りソノ雜役船ノ配屬變更ト共ニソノ新所轄ニ所屬ヲ變更スルモノトスル。
- 三 各地方復員局長ハ管船部長ヲシテ雜役船ノ調査ニ任ゼシメル。
- 四 雜役船中一〇〇噸以上ノモノ(一〇〇噸ノモノヲ含ム)以下之ニ做フ)ヲ雜役船(甲)一〇〇噸未満ノモノヲ雜役船(乙)ト呼稱スル。

- 於テ使用スル必要ガナクナリ内務省ニ移管スルマデ現狀ノママ保管セラレレモソノ雜役船(特)ト呼稱スル。
- 五 各地方復員局長ハ雜役船(特)トスル必要ヲ認メタ場合ニハ連ニ理由ヲ附ケテ具申スル。
 - 六 第二復員局長ハ右其中ニ基イテ他ノ地方復員局ニオイテ使用セシムル必要ナル場合ニハ所管變更ヲ、又ソノ必要ヲ認メナイ場合ニハ特別ノ場合ヲ除キ當該地方復員局カラ内務省(該雜役船所在ノ都道府縣廳)ニ移管ヲ指令スル當該地方復員局長ハ右指令ニ基イテ連ニ所管變更又ハ移管ヲナシ、ソノ旨中央ニ報告スル、但シ内務省ニ移管ノ場合ニハ解撤艦艇引渡要領ニ準ジテ行ヒ引渡書、領收書各一通ヲ添エ中央ニ報告シ第二復員局長ハコレヲ O.B. Serial 1003 ニ報告スル。
 - 七 雜役船(甲) 特殊物件處理委員會船部會決定。
 - 八 雜役船(乙) 地方特殊物件處理委員會船部會決定。
 - 九 各地方復員局長ハ毎月々頭別紙様式ニヨツテ雜役船月頭報告二通ヲ調製シテ十日迄ニ到達スルヨウ中央ニ提出スル。
 - 十 雜役船保管上特ニ必要ナ經費ハ必要ノ都度當該地方復員局經理部ニ協議スル。

0896

(別表第一)

(昭和二十二年三月十三日復員廳第二復員局公報)

雜 役 船 種 別 (Specification of Miscellaneous Vessels)

救 難 兼 曳 船	Tug salvage Boat	重 油 船	Heavy-oil Barge
曳 船	Tug-boat	輕 質 油 船	Gasoline Barge
交 通 船 兼 曳 船	Tug-traffic Boat	潤 滑 油 船	Lubrication-oil Barge
内 火 艇	Motor-boat	起 重 機 船	Crane-ship
高 速 艇	High-speed launch	浚 渫 船	Dredger
長 官 艇	Admirals launch	泥 受 船	Mud scow
内 火 ラ ン チ	Motor-lanch	岩 碎 船	Rock-smash Ship
カ ッ タ ー	Cutter	橋 船	Pontoon
内 火 傳 馬 船	Motor-Sampan	標 的 船	Target ship
傳 馬 船	Sampan	浮 船 渠	Floating Dock
運 貨 船	Freight lighter	測 量 艇	Surveying Boat
シヤラン型運貨船	Sharan-Typed Freight lighter	動 力 船	Power ship
ダルマ型運貨船	Daruma-Typed ◇	塵 船	Carbage ship
團平型運貨船	Danpei-Typed ◇	消 火 艇	Fire boat
特 型 運 貨 船	Toku-typed ◇	電 纜 敷 設 船	Cable-layer
飛 行 機 運 搬 船	Aircraft Barge	海 洋 観 測 船	Observatory ship
魚 雷 運 搬 船	Torpedo Barge	練 習 船	Training ship
糧 食 配 給 船	Provision Barge	冷 凍 船	Refrigerator ship
水 船	Water Barge	潜 水 作 業 艇	Diving boat
汽 艇	Steam-Boat	大 小 發 發	Daijatsu Sbōhatsu

7680

(別表第二)

(昭和二十二年三月十三日復員廳第二復員局公報)

雜 役 船 配 員 標 準

8680

船 種	定 員	甲 板	機 關	計
曳 船	200 噸 以 上	5	4	9
	100 噸 以 上	4	3	7
	100 噸 未 滿	3	2	5
	50 噸 未 滿	2	2	4
運 船 貨	200 噸 以 上	4	2	6
	100 噸 以 上	3	2	5
	100 噸 未 滿	2	1	3
内 火 艇		2	1	3
汽 艇		2	2	4
ラ ン チ		2	1	3
大 發		2	2	4

〔別紙〕

雜役船月頭報告

（昭和二十二年三月十三日復員廳第二復員局公報）

一 保管雜役船現狀報告

(イ) 雜役船(甲)

公稱 番號	船種	噸數	機關馬力	現在地	現狀	現使用廳	記事

(ロ) 雜役船(乙)

同 右

(ハ) 雜役船(特)

同 右

二 前月中ニ内務省ニ移管シタモノ

特別乙 番號	公稱 番號	船種	噸數	機關馬力	現在地	現狀	移管期日	記事

但シ四月以後ハ番號ノ項ハ復員局雜役船一貫番號ヲ使用シ記入ノコト

0899

復員廳第二復員局公報

第九七號

昭和二十二年三月十四日(金)
第二復員局文書課

○令 達

復二第一七七號

横須賀地方復員局所管

特別輸送艦 海第十四號

右ノ特別保管艦ニ指定スル。

昭和二十二年三月十日

復員廳 總裁

○通 牒

復二第一七六號

現況不明者最終處理實施計畫別紙ノ通り定メル。

昭和二十二年三月一日

復員廳第二復員局長

一 方針

現況不明者ノ最終處理方復員業務中最モ重大且ツ困難デアツテ、シカモ迅速ヲ要スル事項デアルコトニ鑑ミ、關係各廳ハ統制アル方針ノ下ニ相互連絡ヲ緊密ニシテ手段ヲ盡シテ情況ヲ調査究明シ復員業務ノ速カナル完遂ヲ計ルタメ概ネ左ノ計畫

復員廳第二復員局公報 第九七號 昭和二十二年三月十四日

六九

ニ依リ之ヲ實施スル。

(イ) 昭和二十二年三月末迄ニ大部ノ戦歿認定ヲ實施シ八月末迄ニ殘部ヲ完了スルヲ目標トスル。

(ハ) 部隊別ノ情況究明ハ三月末完了ヲ目標トスル。

(ニ) 個人別ノ情況究明ハ第一段處置トシテ閣令第六十四號ニ依ル未歸還者調査(以下ハ、一調査ト略稱スル)ノ整備ヲ

日途トシ地方復員局人事部各別ニ實施シテ四月末迄ニ之ヲ終了シ第二段處置トシテ五月ヨリ第二復員局統制ノ下ニ全

國的调查ヲ行ヒ七月末迄ニ之ヲ終了スル。

(三) 各人等部ハ凡ユル工夫ヲ凝ラシテ事務能率ノ向上ヲ計リ

常ニ右目標期日ニ先行セシメル様努メル。

(ホ) 第一復員局下歩調ヲ合セ特ニ市區町村等部外トノ交渉事

項ニ付テハ極力同一方式ヲ行ウコトニ努メル。

(ニ) 關係各廳ノ業務分擔

(イ) 第二復員局人事部(調査班)

現況不明者ノ調査究明ニ關スル企劃統制

戦歿認定資料ノ蒐集整理並びニ配布

(ロ) 地方復員局人事部

管内現況不明者ノ調査並びニ管内地方世話部ノ業務統制

戦歿認定資料ノ蒐集整理

0900

- (ハ) 地方世話部
- (イ) 管内現況不明者ノ調査
- (ロ) 管内既復員者留守擔當者ヨリ情報蒐集
- (ニ) 残務整理班
- (ホ) 當該所轄ノ人員ノ調査
- (ヘ) 上陸地連絡所
- (ニ) 歸還者ヨリ情報蒐集
- 三 部隊別究明要領
- (イ) 潰滅又ハ被害甚大ノ部隊、海没艦船等ノ最後ノ情況ヲ調査究明シ所屬人員ノ戰歿認定資料ヲ得ルヲ目的トスル。
- (ロ) 未究明ハ第二復員局人事部調査班(以下調査班ト略稱スル)主トシテ之ヲ行ヒ、地方復員局人事部、残務整理班等之ヲ補助スル。
- (ハ) 各人事部ハ調査究明ヲ要スル部隊艦船名ヲ連ニ調査班ニ通報スル。
- (ニ) 調査班ハ速カニ左ノ資料ヲ調製スル。
- (1) 情況不明部隊艦船名簿
- (2) 昭和十九年六月以降ノ在外部隊異動表
- (3) 同 右 海没輸送船(乗船部隊)表
- (4) 同 右 應急戰備部隊指揮官名簿
- (五) (防空隊、高角砲隊、機銃隊、防空警部隊、照空隊、震洋隊、射擊隊、特設見張所等ニ付調製)
- (5) 所要部隊艦船戰歿認定資料等
- (ホ) 各部ハ積極的ニ資料ノ蒐集ヲ行フ外、此際現有書類ヲ徹

- (ハ) 底的ニ再整理シテ退蔵資料ノ發見利用ニ努メル。
- (イ) 適時戰歿認定會議ヲ開キ部隊別ニ戰歿認定期日及ビ場所ヲ決定スル。
- 第一回 二月中旬 於吳
- 第二回 四月中旬 於舞鶴
- 四 個人別究明要領
- (イ) 八、一調査ヲ究明ノ基礎トシ各人事部ハ地方世話部ヲ活用シテ關係地方機關ノ協力ヲ求メ速ニ調査究明スル。
- (ロ) 第一段處置
- 地方復員局人事部各別ニ計畫實施シ四月末迄ニ整理ヲ終了スル。
- 其ノ結果ニ基キ各地方復員局人事部ハ五月中旬迄ニ五月一日現在ノ部隊別都道府縣別現況不明者名簿ヲ作製スル。(様式別表)
- (ハ) 第二段處置
- 第二復員局人事部ハ各地方復員局人事部ノ作製シタ前項ノ現況不明者名簿(中央配員ノ現況不明者名簿ヲ加ウ)シ地方世話部ニ配布シ地方世話部ハ關係地方機關ノ協力ヲ得テ調査スル。
- 本調査ハ七月末迄ニ整理完了ヲ目途トシ各人事部地方世話部ハ積極的ニ地方官廳ニ人員ヲ派遣シ作業ヲ促進ニ努メル。
- (ニ) 復員事務未了者ノ處理

0901

八、一調査ノ對象トナラナカツタ内地復員未處理者ノ整理ヲ至急實施スル、之方爲各人事部ハ速ニ葉書照會ヲ行ヒ四月末迄ニ整理スル。

(ホ) 第二復員局人事部ハ在外殘留者名簿ヲ作製スル。
(ハ) 戰災等ニ依リ調査ノ基本トナルベキ資料(履歴原表、配員名簿等)ノ缺損シテ居ルトコロヲ至急整備スル。
(ト) 所管別不明ノ未歸還者ノ處理ハ居住地所管ノ地方復員局人事部ノ擔當トスル。

五 戰歿認定後ノ諸業務
扶助課ノ行ウ諸業務竝ビニ業績關係業務等戰歿認定ニ伴ウ業務ノ進行ヲ極力促進シ、今後短期間ニ大量ノ認定ヲ行ウ場合、速カニ之ヲ消化シ最終處理全般ノ早期完了ヲ期スル。
(別表添)

○ 雜 款

○ 正 誤
三月十一日附復員廳第二復員局公報第九四號通牒欄二復人扶第一五號ノ八一(ホ)調製書類ノ項末尾「受給者名記註等ノコト」ハ「受給者名等記註ノコト」ノ誤。

復員廳第二復員局公報 第九七號 昭和二十二年三月十四日

0902

(復二第一七六號別表)

(昭和二十二年三月十四日復員廳第二復員局公報)

(註) 部隊別ニ別紙トスルコト。
「方面」ノ区分、「部隊」ノ配列順序ハ追テ定メル。

方 面	部 隊	番 號	整 理	氏 名	生 年 月 日	入籍番號 (派遣元應)	特 技 章 種	本 籍	記 事
		(等 軍 屬 身 分)	級						

0903

復員廳第二復員局公報

第九八號

昭和二十二年三月十七日(月)

第二復員局文書課

○令 達

復二第一七八號

昭和二十一年復二第三二六號特別輸送艦船ノ定員ノ件(中次ノヨウニ改正スル。)

昭和二十二年三月十四日

復員廳總裁

別表ノ別表第一トシ別表第二ヲ別表ノヨウニ定メル。

(別表添)

(参照)十月二十九日第二復員局公報)

○通 牒

二復總第四八四號

昭和二十二年三月十四日

復員廳第二復員局總務部長

關係各廳長殿

S. S. B 艇保管要員追加ノ件通牒

二復總第七番電(二月八日)ニヨリ新ニ保管スルコトニナツタ舊陸軍所屬S. S. B 艇保管要員ヲ別紙ノ通り定メ復二第八八號管

復員廳第二復員局公報 第九八號 昭和二十二年三月十七日

船規程(二月七日公報)別紙管船關係要員配置標準ニ追加サレタカラ了知サレタイ。

(別紙添)

二復人扶第一五號ノ一一〇

昭和二十二年二月二十二日

復員廳第二復員局人事部長

各地方復員局人事部長殿

死亡報告手續變更ニ關スル件通牒

首題ノ件、復員廳總裁官房長ヨリ、司法省民事局長ニ對シ、別紙中ノ通り照會サレタトコロ、別紙乙ノ通り回答ガアツタカラ、今後處理ノモノニツイテハ、コレニヨルコトトサレタイ。

(別紙中)

復第八號

死亡報告手續變更ニ就テ

昭和二十二年一月二十八日

復員廳總裁官房長

司法省民事局長殿

軍人軍馬トシテ在職中ニ死亡シタ陸海軍軍人軍馬中戦死者、戦死確認者及水難、火災ニ因ル死亡者ニ付テハ地方世話部長(陸

0904

軍關係)又ハ第二復員局人事部長、各地方復員局人事部長(海軍關係)ガ死亡報告書ニ據リ死亡者ノ本籍地市區町村長ニ戸籍法第百十九條ニ據ル報告ヲ爲シ其ノ他ノ死亡者ニ付テハ地方世話部長(陸軍關係)又ハ第二復員局人事部長、各地方復員局人事部長(海軍關係)ノ證明ニ據リ留守擔當者ガ其ノ本籍地市區町村長ニ戸籍法第百十六條ニ據ル死亡届ヲ爲ス様ニナツテ居ルガ此等在職中ノ死亡者ハ總テ復員官署及地方世話部ニ於テ其ノ死亡事實ヲ認定(判定)(確認)シテ手續スルノゾアルカラ從來ノ二様ノ手續ヲ廢止シ地方世話部長(陸軍關係)又ハ第二復員局人事部長、各地方復員局人事部長(海軍關係)カラ直接本籍地市區町村長(死亡方内地テ發生シタ場合ハ其ノ地ノ市區町村長)ニ戸籍法第百十九條ニ據ル死亡報告(昭和二十一年九月三十日以前ニ死亡シタ者ニ就テハ從來ノ様式ニヨリ同年十月一日以降ニ死亡シタ者ニ就テハ昭和二十一年司法省令第八十一號附錄第四様式ニヨリ)ヲ行フコトニ統一シタイカラ照會スル。

追而異存ナキ時ハ關係官署ニ通知セラレタイ。

(別紙乙)

司法省 民事局 民事甲第一〇四號

昭和二十二年二月十三日

司法省民事局長 奥野健一

復員廳總裁官房長殿

死亡報告手續變更ニ關スル件

客月二十八日附復第八號シモツテ、御照會ノ標記ノ件ニツイテハ、貴見ノ通りノ取扱ニテ別段異存ハナイ。右回答イタクシマス。

0905

(二復總第四八四號別紙)

(昭和二十二年三月十七日復員廳第二復員局公報)

管船基地	管出船張部所	保管 S S、S B 艇	S S、S B 艇 乘員				S S、S B 艇 豫備員		計	總計
			二級	三級	雇傭人	計	雇傭人	計		
大	湊	S S 23	1	1	3	5	1	1	6	6
吳		S B 101、S B 108、※S B 112、S B 126	3	3	9	15	3	3	18	18
佐	關門	S S 13、※S S 16、S B 103、S B 104、S B 105	4	4	12	20	4	4	24	48
世	樽多	※S B 107、S B 110、S B 116、S B 117	3	3	9	15	3	3	18	
保	鹿兒島	S B 106	1	1	3	5	1	1	6	
舞		S B 111、S B 119、S B 122、S B 124	4	4	12	20	4	4	24	30
鶴	伏木	S B 121	1	1	3	5	1	1	6	
計		S S 艇 3隻 S B 艇 17隻	17	17	51	85	17	17	102	102

註 ※印ハ所在不明ノモノヲ示シ、ソノ保管員ヲ含メテイナイ。

9060

(復二第一七八號別表第二)

(昭和二十二年三月十七日復員廳第二復員局公報)

特別輸送艦船定員表

區 分 艦 船 名	二級事務官、三級事務官(元准士官)							三級事務官(元下士官)、雇員															總 計	備 考				
	元兵科ノモ			元機關科ノモ		元主計ノモ	元醫務ノモ	元水兵科ノモ					元機關科ノモ					元主計科ノモ			元ノ	合						
	艦長	航海長	乗組	機長	乗組	主計長	醫務長	操舵	應急	信號	電信	其他	計	主機	補機	罐	電機	内火	無章	計	經理	衣糶			無章	計	看護科ノ	計
元水雷艇	1	1	1	1	0	1	1	2	2	3	4	11	22	3	2	3	2	1	23	34	1	1	3	5	1	62	72	
元驅潜艇	1	1	1	1	0			2	2	3	2	12	21		1		2	2	10	15	1	1	1	3	1	40	47	
元敷設特務艇	1	1	1	1	0			2	2	3	2	11	20	3		3	1		11	18	1	1	1	3	1	42	49	
元驅潜特務艇	1		1	1	0			2	2	3	1	5	13				2	2	4	8		1	1	2	1	24	29	
元哨戒特務艇	1	1	1	1	0			2	2	3	2	9	18				2	2	4	8		1	1	2	1	29	35	
元掃海特務艇	1	1	1	1	0			2	2	3	2	9	18				2	2	4	8		1	1	2	1	29	35	
光濟	1	1	1	1	0	1	1	2	2	3	4	11	22	3	2	3	2	1	23	34	1	1	3	5	1	62	72	

0907

復員廳第二復員局公報

第九九號

昭和三十二年三月二十八日(金)
第二復員局文書課

○令 達

復二第二〇三號

吳地方復員局所管

特別輸送艦

同	楓	馬
同	對	節
同	羽	久
同	宇	
同	海第五十五號	
同	海第五十八號	
同	海第七十八號	
同	海第七十九號	
同	海第一百六號	
同	海第一百二十六號	
同	海第一百四十二號	
同	海第一百五十號	
同	雉	
同	驅潛第九號	
同	驅潛第二十一號	
同	白	崎

右ヲ佐世保地方復員局所管ト改メル。

昭和三十二年三月二十五日

復員廳 總裁

○雜 款

○辭令公報ノ甲、乙區分廢止ノ件

四月一日ヨリ辭令公報ノ甲、乙區分ヲ廢止スル。

○郵便物發送先

試航船 わかくさ丸、兵庫縣明石市

同 明石郵便局氣付

同 桑 菜 丸 山口縣徳島市

同 下關掃海部徳山基地氣付

○残務整理

一月三十日開始 佐世保地方復員局補給部鹿兒島出張所

鹿兒島市住吉町海岸通り

三月一日開始 特別輸送船隊ごた丸残務整理班

吳市下山手町 吳地方復員局經理部内

二月二十八日閉鎖 吳管船部大竹支部残務整理班

○轉官

復員廳第二復員局公報 第九九號 昭和三十二年三月二十八日

七五

0908

昭和二十一年一月三十一日	厚生事務官ニ轉官	海軍書記	加藤 勝郎
同	臺灣總督府地方技師ニ轉官	海軍技師	木田平八郎
三月三十一日	南洋廳ニ轉官	海軍書記	山田 邦彦
四月十五日	關東局技師ニ轉官	海軍技師	竹谷 精一
同	地方技官ニ轉官	海軍技手	濱村 清治
六月十五日	地方事務官ニ轉官	海軍書記	清水 光雄
同	同	海軍司政官	吉田喜市郎
同	大藏技官ニ轉官	海軍技師	沼田 滿
同	地方技官ニ轉官	同	三輪 三郎
同	文部教官ニ轉官	海軍司政官	原 俊之
同	地方技官ニ轉官	海軍技手	安部 正巳
六月十七日	内務事務官ニ轉官	海軍司政官	森岡 秀雄
同	南洋廳國民學校訓導ニ轉官	海軍書記	三宅 正
六月三十日	外務書記生ニ轉官	同	兒玉 幸平
同	南洋廳警部ニ轉官	海軍警部	小倉 憲壽
同	臺灣總督府理事官	海軍司政官	和田 正也
同	遞信技官ニ轉官	海軍技手	福井 幸郎
同	同	同	竹下 含
同	遞信技官ニ轉官	海軍技手	富永 了一
同	運輸技官ニ轉官	同	大塚 眞三

同	地方教官ニ轉官	海軍技師	倉茂 好雄
同	厚生技官ニ轉官	同	玉村 孝三
同	文部教官ニ轉官	海軍技師	輪田 潔
同	地方事務官ニ轉官	海軍書記	溝淵 進造
同	地方教官ニ轉官	海軍教員	山崎 正巳
同	南洋廳國民學校訓導ニ轉官	同	三輪喜右衛門
同	南洋廳警部ニ轉官	海軍警部	高橋 直武
同	臺灣總督府事務官ニ轉官	海軍司政官	小峰 友雄
昭和二十二年一月三十日	地方事務官ニ轉官	復員事務官	神山 和夫
同	地方技官ニ轉官	同	坂井 勉
十一月十日	地方教官ニ轉官	海軍司政官	坂井 勉
同	同	同	同
九月十五日	同	同	同

○改姓	昭和二十二年二月二十六日	中田ニ改姓	復員事務官	平岩 政雄	(電報符 六五九八)
○死亡	昭和二十二年三月十二日	復員事務官脇田 禎	八三月十二日	急性肺炎ニテ死亡シタ。	

0909